

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8346
担当部課名	保健所	保健予防	課	精神保健・難病対策
事務事業名	難病患者等居宅生活支援事業(ホームヘルプサービス事業)		事業コード	12220

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	11
施策名	第2施策	保健サービスの充実	年度

## 2 実施根拠及び関連法令等

厚生労働省保健医療局長通知 「難病患者等ホームヘルプサービス事業運営要綱」  
相模原市難病患者等ホームヘルプサービス事業実施要綱

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
難病患者等が居宅において日常生活を営むことができるよう、難病患者等に対してホームヘルパーを派遣し、入浴等の介助、家事等の日常生活を営むのに必要な便宜を供与し、難病患者等の居宅生活支援を図る。		難病患者等の在宅のうち、日常生活を営むうえで支障のある方	
		対象数	約2400人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
ホームヘルプサービス経費支出額 1,153千円 784h(派遣延時間数)×1470円(基準単価) 派遣対象者 6人 年間総延利用回数 392回 派遣延時間数 784時間 週2回2時間 A階層 222回×2h=444h B階層 170回×2h=340h 自己負担額無し		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名 相模原市障害者福祉計画	
		計画年次 10年度～14年度	
		地域生活・自立生活支援施策の充実	

## 4 評価指標

指標名	サービス利用率		
指標式	サービス利用決定者/利用申請者		
指標設定の意図	ホームヘルパーが必要な難病患者等に当該サービスの提供ができていないかを見る		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	127	134	1,153	1,201	2,430
	人員・時間数	76H	91H	784H	508H	1,356H
	人件費	318	381	3,278	2,124	5,669
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	445	515	4,431	3,325	8,099
特定財源	94	99	864	900	1,821	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している ( 100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%> )	= 、 、 の平均値 = 100.0%
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$	
理由 :	ホームヘルパーが必要な難病患者等及び家族の利用申請に対し、随時対応している。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 日常生活を営むうえで支障のある難病患者等の世帯の状況に応じ派遣内容・派遣回数等を決定しており、自立援助の観点からも当該サービスは必要不可欠である。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 派遣対象者が少数のこともあり、常勤ヘルパーを中心にサービスの提供が行われている。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 事業の実施主体は、市町村とし、その責任の下にサービスを提供するとなっているが、事業の一部を社会福祉法人等に委託することはできるものとされている。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 派遣対象者の状況に応じ、派遣内容・派遣回数を決定しており、利用者である市民の満足は得られているものとする。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 「保健サービスの充実」という施策実現において、当該事業は、難病患者等とその家族への居宅生活支援を図るうえで、有効であるとする。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 難病患者等に対し、当該事業の周知徹底を図り、その理解と協力を得るよう努める。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 難病患者等の利用人数や状況に応じ、対応しており、難病患者等の負担も低廉に抑えている。

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	難病患者等の対象人数や状況が異なるため、把握していない。
今後の進め方			説明
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--